

令和8年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-001	事業区分	令和7年度事務事業	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業
1	事務事業名		交通安全施設設置（地域整備事務所）							
	基本計画 2025 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～				SDGs	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				未来都市計画 2021-2025 との関連	ターゲット	11.7	
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備					主な取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進	
	事業内容			投入量（単位：千円）				費用対効果（事業の効率性）に係る所見		
	交差点改良工事や歩道改良、防護柵、道路標識、道路照明灯、道路反射鏡、道路区画線などの交通安全施設の設置を行う。 (令和7年度実績) 要望等対応件数 1,625件			事業費(a)		R6決算	R7決算	R8予算	交通事故件数や市民からの施設設置要望等を勘案し、必要性の高い箇所を精査したり、定期点検やパトロールにより道路施設の損傷を早期把握することで、交通安全施設の充実・更新を行っている。 交通管理者等と連携しながら、道路管理者として必要な交通安全施設の設置など交通安全対策を進め、歩行者・車両等の安全を図るため、引き続き事業を実施していく必要がある。	
				うち一般財源		109,215	38,866	32,199		
				主 な 内 訳	工事監理業務等委託料	4,753	3,660	7,500		
					交通安全施設設置等工事費	229,462	204,306	226,699		
人件費(b)				41,310	38,640	34,800				
年間経費(c)=(a)+(b)		275,525	246,606	268,999						
No.	事業番号	019-002	事業区分	令和7年度事務事業	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業
2	事務事業名		舗装補修マネジメント事業							
	基本計画 2025 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～				SDGs	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				未来都市計画 2021-2025 との関連	ターゲット	11.7	
		取組の方向性	①計画的な長寿命化の推進					主な取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進	
	事業内容			投入量（単位：千円）				費用対効果（事業の効率性）に係る所見		
	本市で管理する道路約2,100kmのうち、幹線道路等約320kmについて、舗装の長寿命化計画を策定し、定期点検による状態把握・診断を行い、予防保全の概念を取り入れ、舗装の補修・更新を計画的に実施する。 その結果、道路を安全・安心に通行できる道路機能を確保し、また、維持管理費の平準化を図る。 (令和7年度実績) 舗装補修工事 約6km			事業費(a)		R6決算	R7決算	R8予算	舗装の長寿命化計画に基づき事業を実施することで、維持管理の効率化と予算の平準化を図っている。 また、防災・安全交付金や公共施設等適正管理推進事業債を財源に充当することで、本市の歳出を削減するとともに、財源確保に向けた国への要望を行っている。 道路利用者の安全・安心を確保するため、引き続き事業を実施していく必要がある。	
				うち一般財源		57,459	66,615	112,162		
				主 な 内 訳	工事監理委託業務等委託料	37,879	36,828	64,900		
					舗装補修工事費	549,925	603,062	1,177,160		
人件費(b)				85,860	86,520	87,000				
年間経費(c)=(a)+(b)		673,664	726,410	1,329,060						

令和8年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-003	事業区分	令和7年度事務事業	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業	
	事務事業名	一般道路新設改良（地域整備事務所）									
3	基本計画 2025 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～				SDGs	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを		
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				未来都市計画 2021-2025 との関連	ターゲット	11.7		
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備					主な取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進		
	事業内容			投入量（単位：千円）				費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
	車両や歩行者等の安全な通行と利便性向上のため、狭あいな道路については、道路擁壁の改良や道路と縦断的に隣接している水路の暗渠化など、道路の拡幅を行う。 (令和7年度実績) 道路改良工事延長 47m			事業費(a)		R6決算	R7決算	R8予算	市民からの要望等を勘案し、必要性の高い箇所から道路の改良等を行うことで、安全な通行空間を確保している。 改良工事による通行の安全性や利便性の向上、現状の危険度等を考慮しながら、道路の改良や水路の暗渠化、側溝の勾配不良改善などの事業を推進することは、道路利用者の安全・安心の確保だけでなく生活環境にも寄与するため、引き続き事業を実施していく必要がある。		
				うち一般財源		51,414	7,554	36,900			
				主 な 内 訳	工事監理業務等委託料	0	1,715	3,000			
					道路新設改良工事費	51,414	5,839	33,900			
				人件費(b)		10,530	4,200	4,350			
				年間経費(c)=(a)+(b)		61,944	11,754	41,250			
	No.	事業番号	019-004	事業区分	令和7年度事務事業	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業
		事務事業名	舗装補修								
基本計画 2025 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～				SDGs	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを			
	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				未来都市計画 2021-2025 との関連	ターゲット	11.7			
	取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備					主な取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進			
4	事業内容			投入量（単位：千円）				費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
	道路の舗装について、道路パトロールや市民からの通報等をもとに、現場確認を行い、緊急性の高い箇所から速やかに補修を行う。（舗装補修マネジメント事業、泉北ニュータウン道路舗装更新事業の対象路線を除く） (令和7年度実績) 要望対応件数 1,069件			事業費(a)		R6決算	R7決算	R8予算	舗装の損傷箇所について、緊急性の高い箇所から補修を行うとともに、LINEによる通報システムを活用して、速やかに対応を行っている。 道路利用者の安全・安心を確保するため、舗装補修マネジメント事業とあわせて引き続き事業を実施していく必要がある。		
				うち一般財源		777,554	822,778	759,661			
				主 な 内 訳	工事監理業務等委託料	2,953	3,505	7,000			
					舗装補修工事費	764,319	816,711	734,661			
					補助金	10,282	2,562	18,000			
				人件費(b)		77,760	66,360	65,250			
				年間経費(c)=(a)+(b)		855,314	889,138	824,911			

令和8年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-005	事業区分	令和7年度事務事業	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業	
5	事務事業名		河川水路維持（地域整備事務所）								
	基本計画 2025 との関連	戦略	—				SDGs	ゴール	—		
		施策	—				未来都市計画 2021-2025 との関連	ターゲット	—		
		取組の方向性	—				との関連	主な取組	—		
	事業内容			投入量（単位：千円）				費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
	管理河川及び水路の構造物の修繕及び除草・清掃・浚渫等を行う。 (令和7年度実績) 要望対応件数 217件			事業費(a)		7,966	8,405	20,246	市民からの要望等を勘案し、水災害の未然防止や水路の老朽化対策等のため、水路の補修等を行っている。 近年のゲリラ豪雨等の増加を踏まえると、市街地における小規模な管理河川や水路の維持管理は重要であるため、引き続き事業を実施していく必要がある。		
				うち一般財源		7,966	8,405	14,146			
				主 な 内 訳	水路補修修繕料等		1,511	2,460			2,048
					浚渫等委託料		1,097	1,701			3,500
					水路等整備工事費		4,839	3,746			14,140
調整池観測通信運搬費					519	498	558				
人件費(b)				4,050	4,200	4,350					
年間経費(c)=(a)+(b)		12,016	12,605	24,596							
No.	事業番号	019-015	事業区分	令和7年度事務事業	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業	
6	事務事業名		道路構造物アセットマネジメント事業								
	基本計画 2025 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～				SDGs	ゴール	ゴール(11)住み続けられるまちづくりを		
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				未来都市計画 2021-2025 との関連	ターゲット	11.7		
		取組の方向性	①計画的な長寿命化の推進				との関連	主な取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進		
	事業内容			投入量（単位：千円）				費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
	道路を構成する構造物（トンネル、ボックスカルバート、道路照明施設、道路標識等）について、長寿命化計画を策定し、定期点検による状態把握・診断を行い、補修・更新を計画的に行う。 (令和7年度実績) 道路標識(門型等) 点検：41基 道路標識(大型) 点検：184基 道路照明施設 点検：1,995基 更新工事：88基			事業費(a)		174,226	331,727	569,261	各施設の長寿命化計画に基づき事業を実施することで、維持管理の効率化と予算の平準化を図っている。 また、道路メンテナンス事業国庫補助金や公共施設等適正管理推進事業債を財源に充当することで、本市の歳出を削減するとともに、財源確保に向けた国への要望を行っている。 道路利用者の安全・安心を確保するため、引き続き事業を実施していく必要がある。		
				うち一般財源		85,956	197,355	220,520			
				主 な 内 訳	各種調査委託料		87,374	158,423			198,620
					道路構造物等整備工事費		86,259	172,714			370,000
					通信運搬費及び負担金		593	590			641
人件費(b)				50,220	69,960	86,130					
年間経費(c)=(a)+(b)				224,446	401,687	655,391					

令和8年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-020	事業区分	令和7年度事務事業	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業
7	事務事業名 泉北ニュータウン道路舗装更新事業									
	基本計画 2025 との関連	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～				SDGs 未来都市計画 2021-2025 との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築					ターゲット	11.7	
		取組の方向性	①計画的な長寿命化の推進					主な取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進	
	事業内容			投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見		
	老朽化が進んでいる泉北ニュータウン内の地区幹線道路（約80km）と生活道路（約120km）について、定期点検による状態把握・診断を行い、補修・更新を計画的に行う。 (令和7年度実績) ・地区幹線道路 約33% 主にバス等が通行する道路や歩道がある道路等、道路幅員が概ね6m以上の道路 ・生活道路 約38% 主に道路幅員が6m未満の住宅地内の道路			事業費(a)		R6決算	R7決算	R8予算	泉北ニュータウン内の対象路線について、計画に基づき舗装補修を実施している。 交付税措置のある公共施設等適正管理推進事業債の活用や、占有者工事との連携により事業費削減や工期短縮を図る取組等を行っている。 道路利用者の安全・安心を確保するため、舗装補修マネジメント事業とあわせて引き続き事業を実施していく必要がある。	
				うち一般財源		245,342	211,060	300,000		
				主な内訳	舗装更新設計委託料	0	0	2,000		
					舗装更新工事費	190,123	211,060	203,000		
					舗装更新負担金	55,219	0	95,000		
人件費(b)				30,780	29,400	38,280				
年間経費(c)=(a)+(b)		276,122	240,460	338,280						
No.	事業番号	019-022	事業区分	令和7年度事務事業	所管局	建設局	所管課	路政課	分類	B 法定義務等事業
8	事務事業名 特殊車両通行許可事務									
	基本計画 2025 との関連	戦略	—				SDGs 未来都市計画 2021-2025 との関連	ゴール	—	
		施策	—					ターゲット	—	
		取組の方向性	—					主な取組	—	
	事業内容			投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見		
	車両制限令に規定の車両の幅・長さ・高さ・重さ等の最高限度を超える車両の通行について、通行許可書の発行を行う。 他の道路管理者からの通行協議に対し回答する。			事業費(a)		R6決算	R7決算	R8予算	道路の構造を保全し、交通の危険を防止することを目的とし、特殊車両の通行許可、協議回答を適法、的確に実施している。また、協議回答に係るFAX受信は全て電子化し、送信に関しては内容を精査して使用枚数を削減するなど、事業の効率化を図っている。 (通行許可及び協議回答 約6,450件/年)	
				うち一般財源		3,022	3,874	3,547		
				主な内訳	報酬	0	0	3,242		
					インターネット回線使用料	1,884	2,203	2,224		
					その他（消耗品等）	81	81	93		
					1,057	1,590	1,230			
人件費(b)		27,540	28,560	29,580						
年間経費(c)=(a)+(b)		30,562	32,434	33,127						

令和8年度事業概要一覽表

No.	事業番号	019-029	事業区分	令和7年度事務事業	所管局	建設局	所管課	法定外公共物課	分類	B 法定義務等事業
9	事務事業名		法定外公共物管理事務							
	基本計画 2025 との関連	戦略	—				SDGs	ゴール	—	
		施策	—				未来都市計画 2021-2025 との関連	ターゲット	—	
		取組の方向性	—					主な取組	—	
	事業内容		投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
				R6決算	R7決算	R8予算				
	地方分権一括法により、国から譲与を受けた法定外公共物について、財産管理者として、適正に使用許可、用地処理（売却等）、境界確定等を行う。 ①電気・ガス・水道等の法定外公共物の使用許可に関する事務 令和7年度新規許可件数 265件 ②売り払い等の用地処理に関する事務 令和7年度売払い実績 10件 289.66㎡ 6,195,516円 ③境界確定協議に関する事務 令和7年度境界確定協議件数 291件 令和7年度謄抄本交付件数 77件 令和7年度情報提供件数 1,470件		事業費(a)	19,614	16,118	16,258	・様々な情報を集約した法定外公共物管理システムを活用し、財産管理事務（使用許可、用地処理、境界確定等）を行うに当たっての審査、調査等を効率的に実施している。			
			うち一般財源	12,710	9,388	9,368				
			主 な 内 訳	法定外公共物管理台帳 作成業務等委託料	7,879	6,916	9,465	・申請書類の受付等について、電子申請システムの活用により、サービスの向上と業務の効率化を図っている。		
				報酬・期末手当	9,246	6,807	3,613			
情報システム機器借上料				1,084	1,068	1,068				
その他（消耗品費等）				1,405	1,327	2,112				
			人件費(b)	98,600	107,800	108,800	・売却することが適当な市有地について、事前に概算金額を先方に提示することで売却を促進し、収入の確保と維持管理費の削減につなげている。			
			年間経費(c) = (a) + (b)	118,214	123,918	125,058				
No.	事業番号	019-030	事業区分	令和7年度事務事業	所管局	建設局	所管課	河川水路課	分類	D 建設・整備事業
10	事務事業名		内川排水機場維持管理							
	基本計画 2025 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～				SDGs	ゴール	ゴール(w)住み続けられるまちづくりを	
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				未来都市計画 2021-2025 との関連	ターゲット	11.5,11.b	
		取組の方向性	①計画的な長寿命化の推進					主な取組	住宅、公共施設、都市インフラの災害対策の推進	
	事業内容		投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
				R6決算	R7決算	R8予算				
	・内川排水機場は設置から40年以上が経過していることから、施設の延命化を図るため、長寿命化計画に基づき、各機器の整備・更新を行う。 ・排水ポンプが常に正常な運転ができる状態に保つために、各種点検を行う。		事業費(a)	208,494	188,354	190,340	長寿命化計画等に基づく各機器の延命化、費用の平準化及び機能の向上を実施した。具体的には、令和5年度から契約締結している「内川排水機場1号ポンプ整備工事」を工事完了させ、令和6年度から契約締結している「内川排水機場2号減速機整備工事」は、令和8年度の工事完了に向け現場作業を実施した。 なお、財源に国土交通省からの補助金を充当し、効果的かつ効率的に事業実施している。			
			うち一般財源	64,894	68,854	94,040				
			主 な 内 訳	施設運転監視等委託等	52,822	52,851	53,000			
				内川排水機場 2号減速機整備工事	0	30,100	40,000			
内川排水機場 3号ポンプ整備工事				90,033	0	0				
内川排水機場 1号ポンプ整備工事				50,100	75,300	0				
			その他	15,539	30,103	97,340				
			人件費(b)	14,580	15,120	15,660				
		年間経費(c) = (a) + (b)	223,074	203,474	206,000					

令和8年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-031	事業区分	令和7年度事務事業	所管局	建設局	所管課	河川水路課	分類	D 建設・整備事業
11	事務事業名		一般河川改良事業							
	基本計画 2025 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～				SDGs	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	
		施策	(1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上				未来都市計画 2021-2025 との関連	ターゲット	11.5,11.b	
		取組の方向性	①危機対応力の強化					主な取組	住宅、公共施設、都市インフラの災害対策の推進	
	事業内容			投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見		
	【河川改修】 一級河川狭間川においては、河道内の改修が令和5年度に完了し、現在は転落防止柵の復旧等を行っている。 準用河川百舌鳥川においては、時間雨量50mm程度の降雨を安全に流下させることを整備目標とし、上流部の狭あい区間における治水安全度の向上を図ることを目的に、令和元年度より河道改修事業を進めている。 【河川管理施設の適正化】 河川管理施設の点検・評価結果に基づき、予防保全対策として、本市における一級・二級・準用河川の河床・護岸補修等を実施している。 【土砂災害対策】 大阪府が実施する急傾斜地崩壊対策事業に関して、受益者に対する負担金を助成する事業を行っている。			事業費(a)		R6決算	R7決算	R8予算	一級河川狭間川においては、転落防止柵の復旧等を実施し、準用河川百舌鳥川においては、将来的な河道拡幅に向けた先行工事を実施した。また、河川施設の点検・評価結果に基づき、優先順位をつけて効果的かつ効率的に河床・護岸補修工事等を実施した。 なお、財源に国土交通省からの交付金及び地方債（公共施設等適正管理推進事業債(長寿命化事業)、防災対策事業債（自然災害防止事業））を充当し、効果的・効率的に事業実施している。	
				うち一般財源		119,146	116,802	213,550		
				主 な 内 訳	狭間川改修事業	10,961	17,207	16,300		
					百舌鳥川改修事業	50,538	48,202	115,660		
					河床・護岸補修等	43,137	43,083	45,000		
					急傾斜地崩壊防止工事負担金助成事業	3,717	6,025	27,500		
					その他	10,793	2,285	9,090		
				人件費(b)		12,960	13,440	13,920		
	年間経費(c)=(a)+(b)		132,106	130,242	227,470					
No.	事業番号	019-038	事業区分	令和7年度事務事業	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	G 企画・計画策定・調査研究事業
12	事務事業名		全国道路・街路交通情勢調査等							
	基本計画 2025 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～				SDGs	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				未来都市計画 2021-2025 との関連	ターゲット	11.2	
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備					主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化	
	事業内容			投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見		
	国が主体となって実施する全国道路・街路交通情勢調査は、概ね5年ごとに実施しており、日本全国の道路と道路交通の実態（一般交通量調査、OD調査）を把握し、道路の計画、建設、管理などについての基礎資料として活用している。また、同調査に合わせ、同時期に市内主要渋滞箇所の交差点の交通量調査を行っている。 令和7年度は、交通量の調査結果を用いて主要渋滞箇所の渋滞対策に向けた検討を実施した。また、都市計画道路の各整備段階における整備効果等の把握を行った。			事業費(a)		R6決算	R7決算	R8予算	・交通量の調査結果等を用いることで、渋滞対策に向けた関係機関との協議を円滑に進めることができた。 ・都市計画道路の整備に伴う効果や影響などの調査により、都市計画道路整備プログラム更新のための基礎資料として活用している。	
				うち一般財源		979	9,301	15,000		
				主 な 内 訳	調査委託費	979	9,301	15,000		
				人件費(b)		14,747	8,673	7,615		
	年間経費(c)=(a)+(b)		15,726	17,974	22,615					

令和8年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-045	事業区分	令和7年度事務事業	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業
13	事務事業名	南花田鳳西町線（金岡・白鷺地区）								
	基本計画 2025 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを		
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築			未来都市計画 2021-2025 との関連	ターゲット	11.2		
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化		
	事業内容				投入量（単位：千円）				費用対効果（事業の効率性）に係る所見	
	本市の環状道路ネットワークの形成により、並行する常磐浜寺線をはじめとする主要道路の慢性的な渋滞を緩和するとともに、物流の効率化や商業立地を促進するもの。また、周辺地域の緊急車両の通行及び災害時の避難路として、救急、救援活動を支援する機能を高める。 都市計画決定：昭和33年1月25日 事業認可：平成27年2月23日～令和9年3月31日 事業区間：北区金岡町～東区白鷺町 路線延長：L=1,850m 道路幅員：W=22～45m 車線数：4車線 令和7年度は、水路暗渠化工事を実施した。用地取得に向けた測量及び物件調査を進め、また、特別会計からの用地再取得を実施した。				事業費(a)		R6決算	R7決算	R8予算	一定のまとまった用地が取得できたため、早期の道路供用をめざし、水路暗渠化工事を実施した。また、未取得用地の取得に向け、測量及び物件調査を進めた。 なお、財源に国交省からの補助金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率：90%（前年度比 12%増）
					うち一般財源		12,571	29,575	230,239	
					主 な 内 訳	工事費	12,090	98,718	865,000	
						用地費	2,000	24,920	795,560	
						測量等委託費	3,566	19,781	79,074	
						物件移転補償金	0	0	10,000	
						その他	1,955	1,868	16,092	
						人件費(b)	8,672	16,023	14,749	
					年間経費(c)=(a)+(b)		28,283	161,310	1,780,475	
No.	事業番号	019-047	事業区分	令和7年度事務事業	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業
14	事務事業名	錦浜寺南町線								
	基本計画 2025 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを		
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築			未来都市計画 2021-2025 との関連	ターゲット	11.2		
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化		
	事業内容				投入量（単位：千円）				費用対効果（事業の効率性）に係る所見	
	国道26号、府道堺阪南線の慢性的な渋滞を緩和し、生活道路への通過交通を抑制する。また、津波避難の指定地域であることから、緊急車両の通行及び災害時の避難路として、救急、救援活動を支援する機能を高める。 都市計画決定：昭和21年5月22日 事業認可：令和2年3月12日～令和9年3月31日 事業区間：西区浜寺石津町東～西区浜寺船尾町西 路線延長：L=534m 道路幅員：W=25m 車線数：2車線 橋梁 1橋（橋長56.0m） 令和7年度は、地質調査を実施した。				事業費(a)		20,903	6,057	11,000	関係機関等との協議を進め、橋梁詳細設計に向けた地質調査を実施した。 なお、財源に国交省からの交付金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率：100%
					うち一般財源		19,703	757	11,000	
					主 な 内 訳	工事費	0	0	4,000	
						用地費	0	0	0	
						測量等委託費	20,903	6,057	7,000	
						物件移転補償金	0	0	0	
						その他	0	0	0	
						人件費(b)	8,672	16,023	14,749	
					年間経費(c)=(a)+(b)		29,575	22,080	25,749	

令和8年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-048	事業区分	令和7年度事務事業	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業
15	事務事業名 草尾南野田線									
	基本計画 2025 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～				SDGs 未来都市計画 2021-2025 との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築					ターゲット	11.2	
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備					主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化	
	事業内容			投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見		
	国道310号から南海高野線北野田駅へのアクセス機能向上と地域の交通ネットワークの強化を図る。また、周辺地域の緊急車両の通行及び災害時の避難路として、救急、救援活動を支援する機能を高める。 都市計画決定：昭和40年7月29日 事業認可：平成26年5月28日～令和11年3月31日 事業区間：東区草尾～東区西野 路線延長：L=723m 道路幅員：W=18m 車線数：2車線 令和7年度は、工事用進入路整備工事を完成させ、擁壁改修工事に着手した。電線共同溝詳細設計及び用地取得に向けた物件調査等を実施し、また、特別会計からの用地再取得を実施した。			事業費(a)		R6決算	R7決算	R8予算	一定のまとまった用地が取得できたため、早期の道路供用をめざし、工事用進入路・擁壁改修工事を実施した。道路築造工事と並行して進める無電柱化工事に向け、電線共同溝詳細設計を実施した。また、未取得用地の取得に向け、測量及び物件調査を実施した。 なお、財源に国交省からの交付金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率：83%（前年度比 1%増）	
				うち一般財源		18,690	17,641	30,830		
				主 な 内 訳	工事費	10,100	65,841	146,000		
					用地費	3,405	21,340	5,000		
					測量等委託費	9,777	925	7,000		
					物件移転補償金	0	0	0		
					その他	5,667	1,485	4,130		
				人件費(b)		8,672	16,023	14,749		
	年間経費(c)=(a)+(b)		37,621	105,614	176,879					
No.	事業番号	019-050	事業区分	令和7年度事務事業	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	B 法定義務等事業
16	事務事業名 阪神高速道路（株）の事業に対する出資金									
	基本計画 2025 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～				SDGs 未来都市計画 2021-2025 との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築					ターゲット	11.2	
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備					主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化	
	事業内容			投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見		
	(独)日本高速道路保有・債務返済機構に対し、現在事業中の阪神高速道路の新設・改築に要する費用の一部を独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構法に基づき出資している。			事業費(a)		R6決算	R7決算	R8予算	関西圏の都市活動や市民生活を支える基幹ネットワークである阪神高速道路の整備を推進することを目的としている。本出資により阪神高速淀川左岸線 2 期工事の推進に寄与している。	
				うち一般財源		700	700	700		
				主 な 内 訳	出資金	7,000	7,000	7,000		
				人件費(b)		14,747	8,673	7,615		
	年間経費(c)=(a)+(b)		21,747	15,673	14,615					

令和8年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-052	事業区分	令和7年度事務事業	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業
17	事務事業名	大阪河内長野線（八下地区）								
	基本計画 2025 との関連	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを		
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築			未来都市計画 2021-2025 との関連	ターゲット	11.2		
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化		
	事業内容				投入量（単位：千円）				費用対効果（事業の効率性）に係る所見	
	府道大阪狭山線は十分な歩行者空間が確保されておらず、自動車交通も混雑している状況であることから、この課題を早期に解消するため、特に渋滞が多発している野遠石原町交差点南側において道路拡幅を実施するものである。 都市計画決定：昭和45年8月17日 事業認可：平成28年3月29日～令和13年3月31日 事業区間：東区八下町 路線延長：L=220m 道路幅員：W=35m 車線数：4車線 令和7年度は、道路拡幅工事の警察協議が完了し、工事の契約をした。また、特別会計からの用地再取得を実施した。				事業費(a)		R6決算	R7決算	R8予算	中央環状線との交差点付近において、一定のまとまった用地が取得できたことから、渋滞緩和を目的とした道路拡幅工事の早期着手に向け、警察協議を完了させ、工事の契約をした。 なお、財源に国交省からの補助金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率：71%
					うち一般財源		26,515	7,895	82,059	
					主 な 内 訳	工事費	3,863	97,292	162,000	
						用地費	40,580	4,508	290,686	
						測量等委託費	3,252	579	21,000	
						物件移転補償金	0	0	34,000	
						その他	1,138	1,151	3,700	
						人件費(b)	8,672	16,023	14,749	
					年間経費(c)=(a)+(b)		57,505	119,553	526,135	
No.	事業番号	019-053	事業区分	令和7年度事務事業	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業
18	事務事業名	大阪河内長野線（北野田地区）								
	基本計画 2025 との関連	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを		
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築			未来都市計画 2021-2025 との関連	ターゲット	11.2		
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化		
	事業内容				投入量（単位：千円）				費用対効果（事業の効率性）に係る所見	
	本市東部地域の軸となる幹線道路の整備により、並行する国道309号や府道大阪狭山線をはじめとする主要道路の慢性的な渋滞を緩和し、交通環境の改善を図る。また、周辺地域の緊急車両の通行及び災害時の避難路として、救急、救援活動を支援する機能を高め、火災時の延焼遮断機能の強化を図る。 都市計画決定：昭和45年8月17日 事業認可：令和2年3月6日～令和9年3月31日 事業区間：東区北野田地内 路線延長：L=670m 道路幅員：W=35m 車線数：4車線 令和7年度は、用地取得に向けた測量及び物件調査を実施した。				事業費(a)		30,056	32,233	29,100	境界が確定した箇所から順次物件調査及び用地交渉を行い、着実に用地取得を進めた。 なお、財源に国交省からの補助金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率：17%（前年度比 9%増）
					うち一般財源		16,482	15,840	10,575	
					主 な 内 訳	工事費	0	1,276	0	
						用地費	20,979	0	0	
						測量等委託費	7,886	27,242	24,500	
						物件移転補償金	0	0	0	
						その他	1,191	3,715	4,600	
						人件費(b)	8,672	16,022	14,749	
					年間経費(c)=(a)+(b)		38,728	48,255	43,849	

令和8年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-054	事業区分	令和7年度事務事業	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業
19	事務事業名		大阪和泉泉南線（南陵町交差点）							
	基本計画 2025 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市計画 2021-2025 との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを		
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	11.2		
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化		
	事業内容			投入量（単位：千円）				費用対効果（事業の効率性）に係る所見		
	当該交差点南側の北行車線の車線数を増設することで、渋滞緩和及び交通事故の抑制を図る。 都市計画決定：昭和21年5月22日 事業認可：平成29年3月9日～令和9年3月31日 事業区間：堺区霞ヶ丘町 1 丁ほか 延長：L=131m 道路幅員：W=22m 車線数：4車線 令和7年度は、用地取得に向けた測量及び物件調査を実施した。 また、特別会計からの用地再取得を実施した。			事業費(a)		R6決算	R7決算	R8予算	交差点改良工事の早期着手をめざし、物件調査及び用地交渉を着実に進めた。 なお、財源に国交省からの補助金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率：42%	
				うち一般財源		1,784	5,007	6,165		
				主 な 内 訳	工事費	294	1,495	20,000		
					用地費	0	8,037	0		
					測量等委託費	2,209	3,196	8,000		
					物件移転補償金	0	0	0		
					その他	95	279	1,540		
				人件費(b)		8,672	16,023	14,749		
	年間経費(c)=(a)+(b)		11,270	29,030	44,289					
No.	事業番号	019-056	事業区分	令和7年度事務事業	所管局	建設局	所管課	道路整備課	分類	D 建設・整備事業
20	事務事業名		交通安全施設設置（道路整備課）							
	基本計画 2025 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs 未来都市計画 2021-2025 との関連	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を		
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				ターゲット	3.6		
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	道路の交通安全対策の推進		
	事業内容			投入量（単位：千円）				費用対効果（事業の効率性）に係る所見		
	交通安全についての対策が必要な道路や踏切道の安全向上等を目的とし、歩道設置や踏切改良等を実施する。 （令和7年度実施内容） ・踏切道内誘導表示の整備工事（5箇所） ・踏切道の改良に伴う検討業務			事業費(a)		R6決算	R7決算	R8予算	綿密な調査に基づき、適切な設計手法の検討や整備の影響範囲を必要最低限とすることで、効果的・効率的に事業を実施している。	
				うち一般財源		6,510	5,147	6,300		
				主 な 内 訳	設計、測量等	10,261	35,196	11,300		
					工事費	17,164	16,251	79,000		
				人件費(b)		20,202	21,000	21,750		
	年間経費(c)=(a)+(b)		47,627	72,447	112,050					

令和8年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-057	事業区分	令和7年度事務事業	所管局	建設局	所管課	道路整備課	分類	B 法定義務等事業
21	事務事業名		直轄国道負担金							
	基本計画 2025 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～				SDGs	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				未来都市計画 2021-2025	ターゲット	11.2	
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				との関連	主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化	
	事業内容			投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見		
	地方財政法第17条の2の規定及び道路法第53条等に基づき、直轄国道（国道26号）で実施する事業について負担金を支出する。 (令和7年度の主な事業) 住吉橋架替事業、電線共同溝事業等			事業費(a)		R6決算	R7決算	R8予算	本事業は、直轄国道（国道26号）で実施する事業に対して一定割合の費用を負担するものであり、国が計画的に事業を実施している。	
				うち一般財源		7,167	9,333	1,200		
				主 な 内 訳	負担金	502,667	275,833	31,900		
				人件費(b)		810	840	870		
				年間経費(c)=(a)+(b)		503,477	276,673	32,770		
	No.	事業番号	019-058	事業区分	令和7年度事務事業	所管局	建設局	所管課	道路整備課	分類
22	事務事業名		一般道路新設改良（道路整備課）							
	基本計画 2025 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～				SDGs	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				未来都市計画 2021-2025	ターゲット	3.6	
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				との関連	主な取組	道路の交通安全対策の推進	
	事業内容			投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見		
	生活道路及び幹線道路について、道路を新設・拡幅することで、利便性、快適性及び安全性を向上させる。 (令和7年度実施内容) ・道路拡幅工事 1か所 (石原14号線道路改良事業)			事業費(a)		R6決算	R7決算	R8予算	綿密な調査に基づき、適切な設計手法の検討や整備の影響範囲を必要最低限とすることで、効果的・効率的に事業を実施している。	
				うち一般財源		30,086	20,862	35,000		
				主 な 内 訳	工事設計、測量等委託	27,708	33,639	79,095		
					工事費	68,023	54,503	139,200		
					用地費・補償費	9,301	14,431	7,000		
					その他（役務費、需用費、負担金等）	2,278	4,366	305		
				人件費(b)		31,590	32,760	42,630		
				年間経費(c)=(a)+(b)		138,900	139,699	268,230		

令和8年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-061	事業区分	令和7年度事務事業	所管局	建設局	所管課	連続立体推進課	分類	D 建設・整備事業
23	事務事業名 南海本線連続立体交差事業									
	基本計画 2025 との関連	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～				SDGs	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				未来都市計画 2021-2025 との関連	ターゲット	11.2	
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備					主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化	
	事業内容			投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見		
	鉄道高架延長：約2.7km 踏切除却数：7か所 高架化される駅：諏訪ノ森駅、浜寺公園駅 概算事業費：約680億円 令和7年度実施内容 ・鉄道仮線工事、下り高架工事 ・阪堺線東側移設工事 ・占用物移設工事 ・鉄道事業者と連携し、地域住民への周知、説明を実施			事業費(a)		2,203,415	3,017,883	12,935,545	・鉄道事業者や関係者と調整を十分に行い、概ね予定通りの工事進捗を確保することができた。 ・工事進捗に応じた関連工事の一体施工などの創意工夫とあわせて、財源に国交省からの補助金を充当し、効果的・効率的に事業に取り組むことができた。 ・用地取得率：99%	
				うち一般財源		1,045,614	117,696	553,245		
				主 な 内 訳	鉄道事業者施行及び 占用物件負担金	2,067,890	2,832,545	11,760,892		
					物件移転補償金	103,465	113,970	764,000		
					委託料	8,585	0	14,000		
工事請負費					0	1,155	4,000			
その他				23,475	70,213	392,653				
人件費(b)		44,300	45,150	45,150						
年間経費(c) = (a) + (b)		2,247,715	3,063,033	12,980,695						
No.	事業番号	019-062	事業区分	令和7年度事務事業	所管局	建設局	所管課	連続立体推進課	分類	D 建設・整備事業
24	事務事業名 南海高野線連続立体交差事業									
	基本計画 2025 との関連	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～				SDGs	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				未来都市計画 2021-2025 との関連	ターゲット	11.2	
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備					主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化	
	事業内容			投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見		
	鉄道高架延長：約3.2km 踏切除却数：10か所 高架化される駅：浅香山駅、堺東駅 概算事業費：約565億円 令和7年度実施内容 ・鉄道調査設計 ・鉄道準備工事 ・用地測量 ・物件調査 ・事業用地取得			事業費(a)		227,266	726,133	1,924,128	・事業用地の取得に必要な境界確定や物件調査を進め、着実に用地取得を進めることができた。 ・鉄道事業者との協議・調整を行い、鉄道工事に関する調査設計を進め、鉄道準備工事を予定通り進めることができた。 ・財源に国交省からの補助金を充当し、効果的・効率的に事業に取り組むことができた。 ・用地取得率：25%	
				うち一般財源		27,261	50,898	190,628		
				主 な 内 訳	工事設計、測量及び 地質調査等委託業務	0	8,347	4,000		
					支障物件調査業務	40,171	127,020	202,696		
					用地測量等業務	25,014	26,950	5,000		
鉄道事業者施行及び 占用物件負担金					150,000	543,568	1,306,432			
その他				12,081	20,248	406,000				
人件費(b)		37,400	44,700	49,050						
年間経費(c) = (a) + (b)		264,666	770,833	1,973,178						

令和8年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-063	事業区分	令和7年度事務事業	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業
	事務事業名	出島百舌鳥線								
25	基本計画 2025 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～				SDGs	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				未来都市計画 2021-2025 との関連	ターゲット	11.2	
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備					主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化	
	事業内容			投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見		
	来訪者や道路利用者の利便性向上と、駅前広場整備による交通結節点機能の向上及び安全で快適な駅前空間、歩道と車道を分離し、安全で快適な歩行者空間の確保を図る。 都市計画決定：昭和21年5月22日 事業認可：平成28年3月30日～令和10年3月31日 事業区間：堺区百舌鳥夕雲町ほか 路線延長：L=450m 道路幅員：W=16m 駅前広場：A = 2,460㎡ 車線数：2車線 令和7年度は、駅東側の歩道拡幅工事に着手した。また、用地取得に向けた物件調査を実施し、特別会計からの用地再取得を実施した。			事業費(a)		R6決算	R7決算	R8予算	世界遺産である仁徳天皇陵の玄関口となるJR百舌鳥駅前広場の整備を推進するため、駅東側における取得済み用地を活用し、歩道拡幅工事に着手した。また、物件調査及び用地交渉を行い、着実に用地取得を進めた。 なお、財源に国交省からの補助金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率：64% （前年度比 17%増）	
				うち一般財源		64,733	29,711	37,188		
				主な内訳	工事費	1,737	56,569	57,000		
					用地費	109,266	86,624	345,442		
					測量等委託費	22,821	7,263	13,500		
					物件移転補償金	0	6,605	0		
その他					2,739	7,498	2,787			
人件費(b)				8,672	16,023	14,749				
年間経費(c)=(a)+(b)		145,235	180,582	433,478						
No.	事業番号	019-068	事業区分	令和7年度事務事業	所管局	建設局	所管課	公園監理課	分類	D 建設・整備事業
	事務事業名	公園施設管理事業								
基本計画 2025 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～				SDGs	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを		
	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				未来都市計画 2021-2025 との関連	ターゲット	11.7		
	取組の方向性	③新技術や民間技術力の活用					主な取組	民間活力を活用した魅力的な公園の運営		
26	事業内容			投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見		
	都市環境の良好な景観の形成に寄与し、公園を快適に利用いただくため、既存の施設や樹木等については適切かつ効率的な維持管理・保全を行う。特にクビアカツヤカミキリによる桜や梅への被害拡大を防ぐため、薬剤散布やネット巻き等の対策を行う。また、行政主導による維持管理中心の公園管理から、多様な主体との連携・協働による経営的視点・利用者の視点に立つて、都市公園の管理運営を戦略的に推進する公園管理への転換を図る。公園の維持管理費を縮減し、より質の高い公園サービスを公園利用者に提供することで、公園の活性化を図る。 【令和7年度の実施内容】 ・樹木剪定や清掃等の維持管理業務、公園施設の修繕や改修工事、公園管理に要する光熱水費 等 ・P-PFI事業の推進、指定管理による施設運営、公園愛護会活動支援			事業費(a)		R6決算	R7決算	R8予算	・競争入札による電気使用料の縮減（平成29年度より継続）等、維持管理費用の縮減を実施している。 ・効率的な維持管理や電気使用料の削減等を目的に、公園照明灯のLED化を実施している。 ・原池公園などでのP-PFI事業を活用した取り組みに加え、新たに美原ふる里公園では、地元企業との協力により、維持管理費の縮減・施設の相互利用による利便性向上・賑わいの創出に寄与している。	
				うち一般財源		1,664,736	1,939,351	2,064,114		
				主な内訳	維持管理業務等	1,085,036	1,307,127	1,507,633		
					施設修繕・改修等	339,102	327,992	444,036		
					その他維持管理経費	196,568	554,013	233,120		
					指定管理料等	235,669	239,164	247,761		
					公園愛護会関連事業費	113,119	119,849	132,278		
				人件費(b)		375,810	408,000	433,900		
	年間経費(c)=(a)+(b)		2,345,304	2,956,145	2,998,728					

令和8年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-074	事業区分	令和7年度事務事業	所管局	建設局	所管課	公園緑地整備課	分類	F 審議会・協議会等運営事業
27	事務事業名	堺市緑の政策審議会								
	基本計画 2025 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs	ゴール	ゴール(5)陸の豊かさを守ろう		
		施策	(3) ゼロカーボンシティの推進			未来都市計画 2021-2025 との関連	ターゲット	15.1,15.2,15.5		
		取組の方向性	④生態系や緑の保全				主な取組	都市緑化の推進		
	事業内容				投入量 (単位：千円)				費用対効果 (事業の効率性) に係る所見	
	本審議会は、市長の附属機関として委員14人（市議会議員2人、学識経験者7人、市長が適当と認める者5人）で組織されており、市長の諮問を受けて、緑の基本計画その他緑の保全と創出に関する重要事項について、調査、審議を行うものである。 【令和7年度開催概要】 ・令和7年10月29日に令和7年度第1回堺市緑の政策審議会開催（案件） （1）会長副会長の選任 （2）令和6年度における堺市緑の基本計画の各取組事業の進捗状況（報告事項：南部丘陵における緑地保全） （1）特別緑地保全地区の区域の変更について （2）市、市民、事業者の協働による緑地保全について				事業費(a)		R6決算	R7決算	R8予算	第1回審議会：出席委員14/14人、会議時間約2時間 ・審議会を開催し、堺市緑の基本計画における各取組事業と緑の目標の現状値について事業進捗シート等により報告を行った。 ・南部丘陵における緑地保全について、特別緑地保全地区の変更に向けての現状や、市、市民、事業者の協働による緑地保全に向けての取組状況を報告した。 ・各委員から、計画の進捗管理における課題の提起や各取組への意見をいただいたことで、計画の実施についての課題や評価の改善につなげることができた。
					うち一般財源		197	241	989	
					主 な 内 訳	緑の政策審議会委員報酬	102	142	429	
						費用弁償（その他）	95	0	15	
						印刷製本費	0	99	500	
						緑の政策審議会会場費	0	0	45	
					人件費(b)		8,100	8,400	8,700	
					年間経費(c)=(a)+(b)		8,297	8,641	9,689	
No.	事業番号	019-096	事業区分	令和7年度事務事業	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業
28	事務事業名	道路橋りょう維持								
	基本計画 2025 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs	ゴール	ゴール(11)住み続けられるまちづくりを		
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築			未来都市計画 2021-2025 との関連	ターゲット	11.7		
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進		
	事業内容				投入量 (単位：千円)				費用対効果 (事業の効率性) に係る所見	
	道路の清掃や除草、街路樹の管理、道路上にある施設の修繕等を行う。 特にクビアカツヤカミキリによる桜等への被害拡大を防ぐため、薬剤散布やネット巻き等の対策を行う。 (令和7年度実績) 路面清掃延べ延長 12,477km				事業費(a)		2,010,130	2,196,758	2,228,001	車道等の清掃や除草、道路附属物の修繕、街路樹の剪定等の維持管理を行っている。 道路利用者の安全・安心を確保するため、引き続き事業を実施していく必要がある。
					うち一般財源		831,638	1,044,025	1,067,826	
					主 な 内 訳	道路清掃、街路樹管理等業務委託料	1,279,713	1,462,433	1,509,030	
						街路灯、防護柵修繕料等	514,211	528,480	487,378	
						道路整備工事費	216,206	205,845	231,593	
					人件費(b)		383,000	377,800	382,050	
					年間経費(c)=(a)+(b)		2,393,130	2,574,558	2,610,051	

令和8年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-097	事業区分	令和7年度事務事業	所管局	建設局	所管課	路政課	分類	B 法定義務等事業
29	事務事業名 道路管理									
	基本計画 2025 との関連	戦略	—				SDGs	ゴール	—	
		施策	—				未来都市計画 2021-2025 との関連	ターゲット	—	
		取組の方向性	—				との関連	主な取組	—	
	事業内容				投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見	
	道路法に基づく、各種手続き、許可並びに道路敷地の財産管理等を行う。 ①道路敷地の取得・処分に關し、登記・契約等の財産管理に伴う事務 ②沿道敷地所有者との協議により、管理する道路の区域を確定 ③道路の認定、廃止等に係る議会上程手続き及び議決後の認定・区域決定・供用開始等の告示事務 ④道路認定等の告示内容に基づき、道路台帳（調書・図面）記載事項の修正を行い、道路台帳を整備 ⑤電気・ガス・水道等のライフラインを始めとする道路占用物件の許可事務				事業費(a)		92,471	106,950	175,659	道路台帳の整備や道路占用許可などの手続きについて、道路台帳管理システムなど各種システムを活用し、事務の効率化を図っている。道路台帳に係るデータは普通交付税等の算出に用いる基礎数値とされており、交付税検査をはじめとした各種照会等に対応した仕様としている。道路の利活用として、歩道橋ネーミングライツ・パートナー事業を実施し、歳入確保をすすめている。
					うち一般財源		0	0	10,528	
					主 な 内 訳	道路台帳修正委託料	54,780	62,700	72,224	
						公共用地調査測量等事務	1,369	4,114	8,000	
						道路交通情報提供業務	5,715	5,852	6,048	
その他の運営にかかる事務経費等						30,607	34,284	89,387		
人件費(b)					183,100	194,920	201,810			
年間経費(c)=(a)+(b)		275,571	301,870	377,469						
No.	事業番号	019-098	事業区分	令和7年度事務事業	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業
30	事務事業名 常盤浜寺線									
	基本計画 2025 との関連	戦略	5.強しなやかな都市基盤 ～Resilient～				SDGs	ゴール	ゴール(11)住み続けられるまちづくりを	
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築				未来都市計画 2021-2025 との関連	ターゲット	11.2	
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				との関連	主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化	
	事業内容				投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見	
	本市の環状道路ネットワークの形成により、並行する南花田鳳西町線をはじめとする主要道路の慢性的な渋滞を緩和するとともに、物流の効率化や商業立地を促進するもの。また、津波避難対象地域における避難路の役割を担う路線であるため、地域の防災性向上に寄与する。 都市計画：昭和21年5月22日 決定 事業認可：令和元年9月19日～令和16年3月31日 事業区間：西区浜寺諏訪森町東3丁～西区浜寺諏訪森町西4丁 事業延長：L=520m 計画幅員：W29m 車線数：4車線 令和7年度は、用地取得に向けた測量及び物件調査を実施した。				事業費(a)		8,584	7,071	439,376	南海本線連続立体交差事業と一体的な整備を進めることで事業効果の早期発現が見込めるため、南海本線及び阪堺線付近の事業区間などにおいて測量及び物件調査を実施し、着実に用地取得を進めた。なお、財源に国交省からの補助金を充当し、効果的・効率的に事業実施している。 用地取得率：71%（前年度比 3%増）
					うち一般財源		6,802	4,155	30,735	
					主 な 内 訳	工事費	0	0	4,000	
						用地費	0	0	393,576	
						測量等委託費	7,639	6,609	38,500	
物件移転補償金						0	0	0		
その他						945	462	3,300		
人件費(b)					8,672	16,023	14,749			
年間経費(c)=(a)+(b)					17,256	23,094	454,125			

令和8年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-099	事業区分	令和7年度事務事業	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	D 建設・整備事業
31	事務事業名	諏訪森神野線（浜寺・浜寺東地区）								
	基本計画 2025 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～				SDGs 未来都市計画 2021-2025 との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築					ターゲット	11.2	
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備					主な取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化	
	事業内容			投入量（単位：千円）				費用対効果（事業の効率性）に係る所見		
	主要幹線道路との連携による道路ネットワークの形成により、生活道路への通過交通の抑制が図られるとともに、平行する道路の交通渋滞の緩和など交通処理機能の向上が図られ、災害時の活動など、防災機能の向上にも寄与する。 都市計画：昭和21年5月22日 決定 事業認可：令和4年3月4日～令和16年3月31日 事業区間：西区浜寺諏訪森町西1丁～西区浜寺諏訪森町東1丁 事業延長：L=569m 車線数：2車線 令和7年度は、用地取得に向けた測量の協議を実施した。			事業費(a)		R6決算	R7決算	R8予算	南海本線連続立体交差事業と一体的な整備を進めることで事業効果の早期発現が見込めるため、用地取得に向けた測量の協議を実施した。 用地取得率：0.2%	
				うち一般財源		496	0	7,181		
				主 な 内 訳	工事費	0	0	0		
					用地費	0	0	0		
					測量等委託費	219	0	21,500		
					物件移転補償金	0	0	0		
					その他	277	0	1,356		
				人件費(b)		8,672	0	14,749		
	年間経費(c)=(a)+(b)		9,168	0	37,605					
No.	事業番号	019-101	事業区分	令和7年度事務事業	所管局	建設局	所管課	公園監理課	分類	D 建設・整備事業
32	事務事業名	公園施設長寿命化修繕事業								
	基本計画 2025 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～				SDGs 未来都市計画 2021-2025 との関連	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築					ターゲット	11.7	
		取組の方向性	①計画的な長寿命化の推進					主な取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進	
	事業内容			投入量（単位：千円）				費用対効果（事業の効率性）に係る所見		
	今後、急速に老朽化が進んでいく公園施設に対して、アセットマネジメント手法を取り入れた堺市公園施設長寿命化計画に基づき、計画的・効率的な公園施設の維持管理を推進し、公園利用者が安全・安心で快適に利用できる環境を確保する。			事業費(a)		R6決算	R7決算	R8予算	・公園施設長寿命化計画に基づき、計画的・効果的に公園施設の改修等を実施した。また、交付金等を活用することで本市の歳出を削減することができた。 ・各公園施設の重要度や規模等により、「予防保全を図る施設」と「事後保全とする施設」に区分し、計画的、効率的な維持管理を行うことで、公園施設の安全性や快適性を確保するとともに、維持管理費の平準化及びライフサイクルコストの縮減を図っている。 ・令和7年度は、長寿命化修繕事業により29施設の修繕工事を完了し、公園利用者の安全・安心な利用環境を確保している。	
				うち一般財源		331,782	192,931	350,000		
				主 な 内 訳	設計業務	63,382	26,567	41,900		
					設計業務	7,049	0	7,700		
					設備工事費	273,324	176,592	317,300		
					各種計画策定	51,409	16,339	25,000		
				人件費(b)		40,500	42,000	43,500		
	年間経費(c)=(a)+(b)		372,282	234,931	393,500					

令和8年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-109	事業区分	令和7年度事務事業	所管局	建設局	所管課	河川水路課	分類	D 建設・整備事業	
33	事務事業名 河川水路維持（河川水路課）										
	基本計画 2025 との関連	戦略	—				SDGs	ゴール	—		
		施策	—				未来都市計画 2021-2025 との関連	ターゲット	—		
		取組の方向性	—				との関連	主な取組	—		
	事業内容			投入量（単位：千円）				費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
				R6決算	R7決算	R8予算					
	管理河川及び水路を良好な状態に保ち、安全で快適な河川水路環境を保全するため、構造物の修繕及び樹木管理・清掃・浚渫等を行う。 【令和7年度実績】 樹木管理業務：10河川 浚渫等業務：2河川3水路 点検業務：1河川			事業費(a)		88,507	82,574				107,752
				うち一般財源		87,313	81,610				98,458
				主 な 内 訳	内川ほか樹木管理業務	14,571	15,126				17,734
					狭間川ほか樹木管理業務	11,437	14,272				16,901
					大仙水路ほか道路排水施設等清掃業務	10,727	13,205				14,907
					管理河川点検業務	7,788	8,498				12,397
	その他		43,984	31,473	45,813						
	人件費(b)		19,440	20,160	20,880						
	年間経費(c)=(a)+(b)		107,947	102,734	128,632						
No.	事業番号	019-110	事業区分	令和7年度事務事業	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業	
34	事務事業名 泉北ニュータウン街路樹更新事業										
	基本計画 2025 との関連	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～				SDGs	ゴール	ゴール(11)住み続けられるまちづくりを		
		施策	(5) 泉北ニュータウンの新たな価値の創造				未来都市計画 2021-2025 との関連	ターゲット	11.7		
		取組の方向性	②豊かな緑空間と多様な都市機能の調和				との関連	主な取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進		
	事業内容			投入量（単位：千円）				費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
				R6決算	R7決算	R8予算					
	泉北ニュータウン内において、倒木の危険性や、通行障害、景観機能の低下等が見られる老大木化した街路樹の更新を行う。 (令和7年度実績) 街路樹の更新 144本 進捗率 約39%			事業費(a)		0	42,038				80,000
				うち一般財源		0	6,038				11,600
				主 な 内 訳	街路樹更新工事費	0	42,038				80,000
	人件費(b)		4,050	4,200	4,350						
	年間経費(c)=(a)+(b)		4,050	46,238	84,350						

令和8年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-113	事業区分	令和7年度事務事業	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	G 企画・計画策定・調査研究事業
35	事務事業名	バリアフリー道路特定事業計画								
	基本計画 2025 との関連	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～			SDGs	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを		
		施策	(3) 市民の参加と協働による地域福祉の充実			未来都市計画 2021-2025	ターゲット	11.7		
		取組の方向性	④面的・一体的なバリアフリー化の推進			との関連	主な取組	ウォーカブルな都市空間の形成		
	事業内容			投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見		
	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（平成18年 法律91号）より、基本構想が作成されたときは、関係する道路管理者は、当該基本構想に即して道路特定事業計画を作成するものとされている。堺市バリアフリー基本構想の見直しを受けて、重点整備地区内の新たに位置付けられた生活関連経路における道路について、道路特定事業計画を策定する。令和7年度は中百舌鳥地区における堺市バリアフリー道路特定事業計画を策定した。			事業費(a)		R6決算	R7決算	R8予算	道路特定事業計画の策定は、生活関連施設が集積する一定の区域（重点整備地区）において、旅客施設・車両等、施設間を結ぶ経路（生活関連経路）、建築物、路外駐車場等を重点的かつ一体的なバリアフリー化の推進に寄与するものである。	
				うち一般財源		4,268	4,175	5,000		
				主 な 内 訳	調査委託費	4,268	4,175	5,000		
人件費(b)				14,747	8,673	7,615				
年間経費(c)=(a)+(b)		19,015	12,848	12,615						
No.	事業番号	019-115	事業区分	令和7年度事務事業	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業
36	事務事業名	地域整備事務所整備								
	基本計画 2025 との関連	戦略	—			SDGs	ゴール	—		
		施策	—			未来都市計画 2021-2025	ターゲット	—		
		取組の方向性	—			との関連	主な取組	—		
	事業内容			投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見		
	南部地域整備事務所における設備の老朽化に伴い、高圧受電設備を更新するため、令和7年度に詳細設計業務を行い、令和8年度に改修工事を行う。			事業費(a)		R6決算	R7決算	R8予算	令和7年度は設備更新工事に係る詳細設計を行い、更新工事に伴うリスクの低減、施工計画の具体化、コスト精度の向上を図った。 高圧受電設備の不具合により、事務所を含め周辺地域が停電になると、市民生活に影響が生じるため、早期改修に向けて事業を実施していく必要がある。	
				うち一般財源		0	1,772	33,200		
				主 な 内 訳	設備設計業務委託料	0	1,772	0		
					設備改修工事費	0	0	33,200		
人件費(b)				0	4,200	4,350				
年間経費(c)=(a)+(b)		0	5,972	37,550						

令和8年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-116	事業区分	令和7年度事務事業	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業	
37	事務事業名 (仮称) 新金岡複合公共施設整備事業（建設局）										
	基本計画 2025 との関連	戦略	—				SDGs	ゴール	—		
		施策	—				未来都市計画 2021-2025 との関連	ターゲット	—		
		取組の方向性	—				との関連	主な取組	—		
	事業内容			投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
	有事の際に関係機関との迅速な連携が図れ、地域の安心・安全に資する施設として、北消防署・北部地域整備事務所・衛生研究所を移転・集約する。			事業費(a)		R6決算	R7決算	R8予算	令和7年度は令和6年度に引き続き、既存建築物の解体工事や新施設の設計業務など、新施設建設のための整備に着手した。 今後も、工事費用の縮減など、費用対効果が得られるよう事業に取り組む。		
				うち一般財源		24,014	25,452	510			
				主な内訳	手数料		0	355			0
					工事設計業務等委託料		21,270	45,592			510
					撤去工事費		17,544	26,727			0
人件費(b)				8,100	8,400	8,700					
年間経費(c) = (a) + (b)				46,914	81,074	9,210					
No.	事業番号	019-117	事業区分	令和7年度事務事業	所管局	建設局	所管課	土木監理課	分類	D 建設・整備事業	
38	事務事業名 道路掘さく跡復旧										
	基本計画 2025 との関連	戦略	—				SDGs	ゴール	—		
		施策	—				未来都市計画 2021-2025 との関連	ターゲット	—		
		取組の方向性	—				との関連	主な取組	—		
	事業内容			投入量 (単位：千円)				費用対効果（事業の効率性）に係る所見			
	道路占用者による道路の掘さく跡について、道路占用者より工事費用負担金を受けて舗装の復旧工事を行う。			事業費(a)		R6決算	R7決算	R8予算	実施されている占用工事後の舗装復旧にあわせて、老朽化が進んでいる周辺道路の舗装補修を一体的に行うことで、コストの削減及び効率的な事業の推進を実施している。 今後も引き続き上記と同様の方法で、当該事業を行っていく必要がある。		
				うち一般財源		0	0	0			
				主な内訳	道路舗装整備工事費		42,198	9,798			17,400
人件費(b)				1,620	1,680	1,740					
年間経費(c) = (a) + (b)				43,818	11,478	19,140					

令和8年度事業概要一覧表

No.	事業番号	019-118	事業区分	令和8年度事務事業（新規）	所管局	建設局	所管課	道路計画課	分類	G 企画・計画策定・調査研究事業
39	事務事業名	無電柱化調査検討								
	基本計画 2030 との関連	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～			SDGs	ゴール	ゴール(11)住み続けられるまちづくりを		
		施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築			未来都市計画 2026-2030 との関連	ターゲット	11.2,11.7		
		取組の方向性	④安全で快適な道路ネットワークの整備				主な取組	無電柱化の推進		
	事業内容			投入量（単位：千円）				費用対効果（事業の効率性）に係る所見		
	国の最新知見や大阪府・大阪市の整備状況・目標を踏まえ、コストや実現性の観点から最適な無電柱化手法を検討するとともに、整備対象箇所における整備に向けた課題点の整理や電柱・電線の建柱状況の把握等を実施する。			事業費(a)		0	0	6,000	—	
				うち一般財源		0	0	6,000		
				主な内訳	調査委託費		0	0		6,000
人件費(b)				0	0	7,615				
年間経費(c)=(a)+(b)		0	0	13,615						